

経営比較分析表（令和6年度決算）

茨城県 水戸市

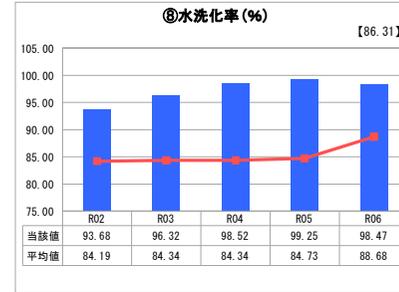
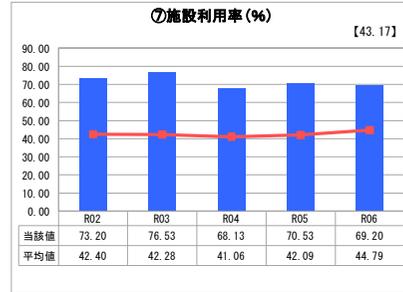
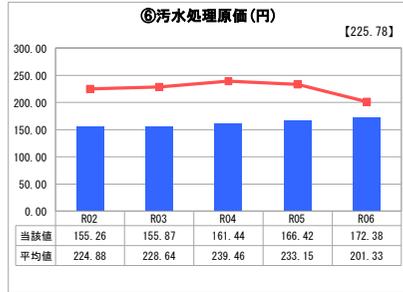
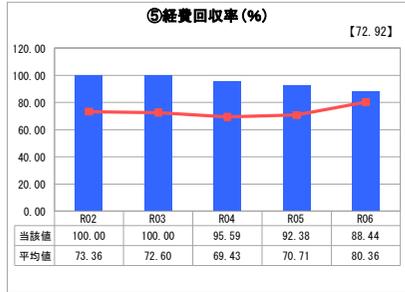
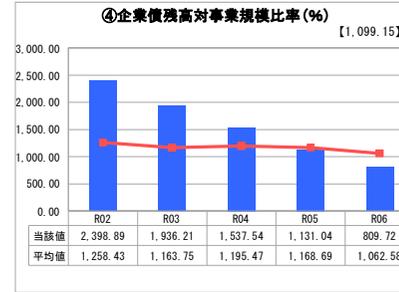
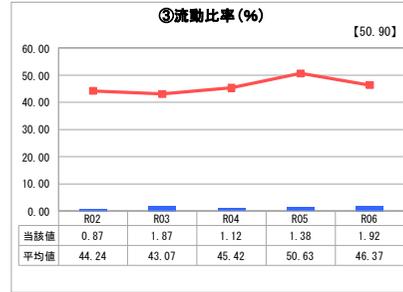
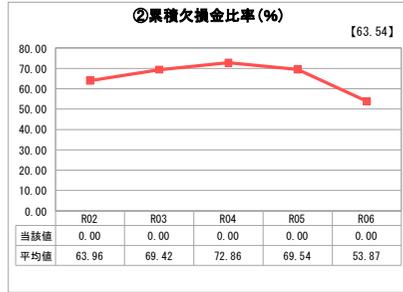
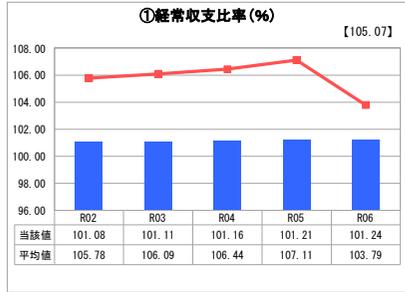
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	88.77	0.39	61.41	2,989

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
267,467	217.32	1,230.75
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,043	0.63	1,655.56

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
引き続き100%を超えているが、収益の約4%を基準外繰入金で賄っている。使用料収入の確保と維持管理費の削減に努めていく必要がある。

② 流動比率
一般会計からの繰り入れは、当該年度に必要な分だけを繰り入れる方針としているため、年度末における流動資産が少なくなっている。

③ 企業債残高対事業規模比率
企業債の償還の進捗により、類似団体平均値よりも下回る値となった。値が過大に増加しないよう、引き続き適切な新規借入の管理に努める。

④ 経費回収率
維持管理費は削減となったものの、有収水量及び使用料収入も微減となったため、経費回収率及び汚水処理原価が悪化した。維持管理費の削減に努めるとともに、使用料収入の確保が必要である。

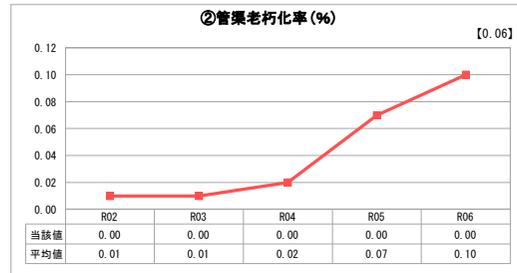
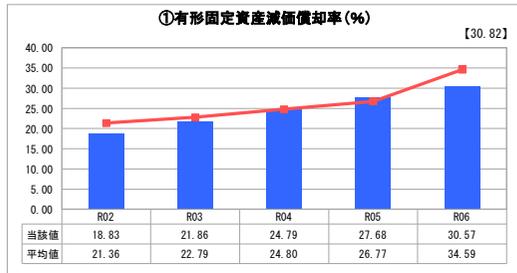
⑤ 施設利用率
整備の完了から相当の年数が経過しており、施設利用率、水洗化率ともに類似団体平均値よりも高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
法適用からの経過年数が短いため、減価償却累計額が小さく、値も低くなっている。
本市の特定環境保全公共下水道事業では、減価償却の進行により毎年3%程度の増加ペースを維持しているが、令和6年度においては類似団体平均値をわずかに下回った。

② 管渠老朽化率
特定環境保全下水道事業は、平成4年に事業を開始しており、管渠の耐用年数を経過していないため0%となっている。当面の間は、定期的な点検を実施し、機能保全に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」は、経費は若干増加し、使用料収入は微減したことで、経費回収率や汚水処理原価は悪化した。しかし、企業債償還は進み、企業債残高対事業規模比率は減少しているものの、総人口及び世帯当たり有収水量の減少がみられるため、今後も減少するものと考えられる。引き続き企業債残高の縮減を図りながら、経営基盤の強化に努め、将来にわたる安定的な事業体制を構築していく。

「2. 老朽化の状況について」は、耐用年数を経過した管渠がないため、現時点での老朽化の度合いや更新スケジュールを把握し、必要に応じて修繕工事を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。